

放課後子ども教室推進事業

文化財・生涯学習課

1 目 的

未来を担う子どもたちを、地域ぐるみで育てるため、放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用して、子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組みを推進する。

2 事業内容

(1) 放課後子ども教室推進事業 (市町村実施、補助額：20,810千円)

事業内容	放課後子ども教室 放課後等に、小学校の余裕教室等を利用し、地域の方々の参画を得て、体験学習などを実施し、子どもたちが健やかに育まれる居場所づくりを推進する。 (35市町村実施、補助額 16,434千円)
	土曜日等の教育支援体制構築 地域の多様な人材を活用し、地域の自然と文化を学ぶ活動などを、土曜日等に体系的・継続的に実施する地域の教育活動を支援する。 (4町村実施、補助額 1,826千円)
	新 地域未来塾 経済的な理由や家庭の事情により、家庭での学習が困難であったり、学習習慣が十分身につけていない中学生に対し、地域住民の協力による学習支援を実施する。 (3市町村実施、補助額 2,550千円)

(2) 放課後子どもプラン推進委員会 (県実施、79千円)

内容	放課後子ども教室と放課後児童健全育成事業(児童クラブ)が、小学校区毎に一体的又は連携して実施される総合的な放課後対策事業(放課後子どもプラン)を推進するため、放課後対策の総合的なあり方の検討や、事業の実施方針の策定等を行う。(年2回)
委員	学識経験者、福祉・ボランティアNPO関係者、市町村コーディネーター、行政関係者、公募委員 計7名

(3) 教育活動推進員等の合同研修会 (県実施、47千円)

研修内容	「放課後子どもプラン」に関わるコーディネーターや教育活動推進員、教育活動サポーター、児童クラブ指導員等の資質向上、情報交換・情報共有の推進のため、安全管理の方策、活動プログラムの企画、障がいのある子どもへの対応、事例研究等を実施する。(年1回)
研修受講者	(子ども教室関係者)運営委員会委員、教育活動サポーター、教育活動推進員、コーディネーター、市町村関係者 (児童クラブ関係者)指導員、市町村関係者

3 平成27年度予算額: 2,093万6千円